

令和7年7月14日
薩摩川内市企画政策課

質問回答書(No.1)

質 問 日	令和7年7月10日
回 答 日	令和7年7月14日
事 業 名	SDGsチャレンジステップアップ事業支援業務
事 業 箇 所	薩摩川内市地内
回 答 者	薩摩川内市企画政策課

質問事項について、次のとおり回答します。

質 問 事 項		回 答
1	共同事業体として参加することが可能な場合、どちらか一方が入札参加資格を持っていれば、共同事業体として参加することは可能でしょうか。 また、どちらか一方が、参加資格に過去5年間SDGsに関する業務委託実績が3件以上あることの条件を満たしていれば良いのか、もしくはどちらの事業者も満たしていなければならないのでしょうか。	本委託事業の公募要領において、共同事業体での参加資格について設定していないため、共同事業体での参加は認めておりません。 本委託業務において、業務の一部を他社と連携する場合については、仕様書4ページ第12条に記載がありますように、再委託することについては認めております。
2	「つんPay」のポイント付与に関するシステムなどの(QRコード等)既存のスキームはございますでしょうか。 また、ない場合は、そのシステムの開発の必要性はございますでしょうか。	「SDGsチャレンジ市民勉強会ポイント」は、参加者にQRコードを配布し、「つんPay」アプリからQRコードを読み取ることでポイントを付与しています。既存のスキームがあり、システムの開発の必要はありません。
3	コラムを作成するとありますが、こちらはWebサイト掲載用の記事コラムを作成するような想定でしょうか。また、コラムのボリューム(文字数など)と掲載先をご教示ください(こちらのWebサイトででしょうか)。	文字数は3000字程度の記事コラムを作成いただくことを想定しており、本市のホームページに掲載いたします。(こちらをご参照ください。 https://www.city.satsumasendai.lg.jp/gyoseijoho/seisaku_keikaku/1/1-2/index.html) また、市内外へ広く発信するために、Instagramに記事コラムを分割し再掲する予定です。
4	『「地産地消」の普及啓発を目的とした動画を1本作成する。』と記載があるが、想定される分数などの指定はございますでしょうか。	動画視聴による「地産地消」の十分な理解及び視聴者が最後まで動画を視聴するように、5分程度の動画を想定しています。

5	「地産地消」普及啓発の動画については、現在のYouTubeにて配信済の動画と同様、3~5分程度の尺を想定されているでしょうか。アニメーションでの制作は想定されているでしょうか。また、掲載先はYouTubeチャンネルという理解で宜しいでしょうか。	動画視聴による「地産地消」の十分な理解及び視聴者が最後まで動画を視聴するように、5分程度の動画を想定しています。 また、アニメーションでの制作など、具体的な制作手法については指定しておりませんが、薩摩川内市ならではの普及啓発動画であることかつ、幅広い世代が視聴しやすい動画であることを求めます。 掲載先は、YouTubeチャンネル「薩摩川内SDGsチャレンジ」になります。
6	Instagramの発信期間と、どのくらいの頻度で行う必要がありますか。また各事業のイベント周知とあるが、各事業とは何を指していますか。	Instagramの発信期間は契約期間と同様であり、発信頻度については、週3回程度を想定しています。 また、各事業とは、市民勉強会やSDGsチャレンジパートナー拡大事業に関するイベントなど、本委託業務で行う事業の全てを指します。
7	Instagramのアカウントは一から立ち上げるということですか。既存のアカウントを運営するということですか。	既存のアカウントの運営及び定期的かつ効果的な情報発信を行っていただきます。 本市は、Instagramの公式アカウント「薩摩川内SDGsチャレンジ」を持っており、「薩摩川内SDGsチャレンジ」を合言葉とした取り組みを、市内外の幅広い世代の方に発信しています。
8	総集編の動画を制作する目的と、動画の掲載先があれば教えてください。もしくは記録用でしょうか。	総集編の動画は、令和7年度のコラムの簡潔明瞭な把握、また、詳細について興味を持った視聴者を各コラムの動画・記事に誘導することを目的に作成し、YouTubeチャンネル「薩摩川内SDGsチャレンジ」で発信します。 また、総集編の動画は、出前講座や研修等で、市内のSDGsの取り組みの紹介動画としても活用しています。
9	閲覧者数の目標達成のため、予算の範囲内で別途広告配信についてご提案させて頂くことは可能でしょうか。	提案いただくことは可能です。 提案いただく場合には、ブランドセーフティ対策を講じることを求めます。
10	バッジについてはSDGsチャレンジロゴマークのみがあらわれたデザインの作成ということで良いのでしょうか。デザインの規定があれば教えてください。	バッジのデザインについては、薩摩川内SDGsチャレンジロゴマークのみがあらわれたもので問題ありません。また、その他のデザインに関する規程はありませんが、バッジの直径は2.5cm程度を想定しています。

11	チャレンジパートナーの事業者様は、昨年度までの事業において、どのような動機付けによって過去このようなイベントにご参加されていたのでしょうか。企画の参考とさせて頂きたく、ご教示頂けると幸いです。	SDGs及びカーボンニュートラルに取り組むことを宣言した、SDGsチャレンジパートナーの企業・団体等の皆様は、SDGsの取り組みの裾野拡大や企業・団体等のSDGsの取り組みの「見える化」など、本市のSDGsの達成に向けた「チーム薩摩川内」の取り組みの推進のために、各種事業にご参加いただいています。また、SDGsチャレンジパートナーの企業・団体等のSDGsに関する取り組みを市ホームページに掲載し市民の皆様へ発信することで、企業・団体として高い意識をもちSDGsに取り組んでいただいております。
12	交流会の参加事業者数並びに参加者数の目安に関して、過去のシンポジウムなどの類似事業における実績をご参考までにご教示下さい。	令和6年度SDGsチャレンジシンポジウム内で行った交流会では、14団体から23名の方々にご参加いただき、講師による先進事例紹介及びパートナーの交流を目的としたグループワークを計1時間行いました。
13	「このうち市有施設で実施する場合は、会場使用料は不要とする。」と記載があるが、会場にある設備も無償でお借り出来る想定でよろしいでしょうか。 (具体的には音響、マイク、ホワイトボード、机、椅子等)	市有施設で実施する場合は、会場及び会場の付帯設備の使用料についても無償であります。
14	実施体制について、市内事業者との連携とあるが具体的にどのようなことを求めていますか。	市内事業者からの調達等による地域経済への貢献や本委託事業への市内事業者との連携や参画の提案を想定しています。